

科 目 名

一般解剖学 General Anatomy

2年 後期 2単位 選択

進 正 志

概 要

生命科学の中で解剖学は正常な体の形態と構造を研究する学問であり、体の機能（生理学）や、病気による変化（病理学）を理解するうえでも解剖学の知識が基本となる。講義では各器官系ごとに肉眼解剖学を導入として概説し、ついで近年、解剖学の主流である器官の微細構造を研究する組織学に重点を置き、体の一般構成とともに、組織細胞の機能的役割を解説する。

目 標

- ① 人体は細胞、組織、器官、器官系からなる階層構造を持つことを理解する。
- ② 人体を構成する細胞、組織、器官の形態と構造をそれぞれのレベルで理解する。
- ③ 人体はこれらの単なる集合体ではなく、機能的に全体として統合されていることを理解する。

授業計画

テ ー マ	内 容
① 組織とその分類	上皮組織、支持組織、筋組織、神経組織
② 骨格系	骨の構造、主要な骨
③ 筋系	筋の構造、主要な筋
④ 脈管系	心臓、動脈系、静脈系
⑤ 免疫系（リンパ性器官）	リンパ節、脾臓、胸腺
⑥ 消化器系Ⅰ（消化管）	口腔、食道、胃、小腸、大腸
⑦ 消化器系Ⅱ（消化腺）	肝臓、胆嚢、膵臓、唾液腺
⑧ 呼吸器系	鼻腔、気管と気管枝、肺
⑨ 泌尿器系	腎臓、尿管、膀胱
⑩ 生殖器系Ⅰ（男性）	精巣、精巣上体、精管、前立腺、陰茎
⑪ 生殖器系Ⅱ（女性）	卵巣、卵管、子宮、膣、胎盤
⑫ 内分泌系	下垂体、松果体、甲状腺、上皮小体、副腎、膵島
⑬ 神経系	中枢神経系、末梢神経系
⑭ 感覚器系	視覚器、平衡聴覚器、味覚器、嗅覚器、皮膚
⑮ 定期試験	

授業方法

プリントを配布し、適宜 PowerPoint を用いて講義を進める。

学習到達度の評価

- ① 授業中に教員より随時質問し、学生の理解を促すとともに、理解度を評価する。
- ② 適宜小テストを行う。
- ③ 最終的に定期試験により総合的に理解度を評価する。

評価方法

出席率を加味して、小テスト、定期試験の成績で判定する。
60点に満たなければ、再試験やレポートにより再度評価する。

教 材

プリント

参考書：「入門人体解剖学」藤田恒夫 著 南江堂